

Fashion in Japan Blue



藍のファッション展

2020年4月7日^(火)-----6月7日^(日)

開館時間=10:00-17:00(入館は16:30まで) / 休館日=月曜日(※ただし、5月4日(月)は開館、5月7日(木)は休館)

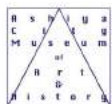
観覧料=一般800(640)円、大高生600(480)円 **中学生以下無料**

※同時開催「芦屋の歴史と文化財」展の観覧料も含む ※()内は20名以上の団体料金 ※高齢者(65歳以上)および身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方ならびにその介護の方は各当日料金の半額 ※観覧無料の日:5月30日(土)、31日(日)(あしやつくるば開催日)

主催=芦屋市立美術博物館

後援=兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人 兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社、NHK神戸放送局、ラジオ関西

企画協力=株式会社イデップ



芦屋市立美術博物館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25

TEL:0797-38-5432 ashiya-museum.jp

Ashiya City Museum of Art & History



上:「紺木綿地市松模様三浦絞り浴衣」明治時代、個人蔵

下:「福本潮子(装)」(紺木綿地雲縫紋り着物)2018年、個人蔵

左端:「白木綿地桜紅葉取模様小裂」江戸時代後期(?)、個人蔵

右端:「白木綿地三浦絞り浴衣」2015年、個人蔵

芦屋市制施行80周年記念

開催要項

着物人口が減少し続けているなか、今も幅広く親しまれているゆかたを基軸に、日本の藍の衣装と藍染めの魅力を紐解く展覧会です。第1章では、絞り染めや、失われつつある長板中形（ながいたちゅうがた）、籠染め（かごそめ）などの技法を取り上げ、江戸時代のゆかたから、人間国宝の清水幸太郎（1897-1968）などによる作品をご紹介します。続く第2章では、2010年代のゆかたを、現代のドレスコードに合わせたコーディネートで展示するほか、有松絞りや藍染めなどを用いながらも、伝統的な「着物」の形にとらわれずに、新しい感性で作品を発表している作家やファッションブランドをご紹介します。最後の第3章は「本藍」をテーマに、藍の葉を原料とする「すくも」を用い灰汁などで発酵建てする伝統的な工程を経て生み出された染織作品やファッション、デザインプロダクトを、ドキュメンタリー映像とともに展示します。幅広い作家やブランドが手がけた50点を超える作品により、藍のファッションの伝統と現在（いま）をご紹介します。

同時開催

「芦屋の歴史と文化財」 4月7日-11月23日 1階歴史資料展示室

出品作家・ブランド（50音順）（予定）

清水幸太郎、小宮康正、新道弘道、松原伸生、福本潮子、関美穂子、Suzusan、matohu など

作家/ブランド 約20

主な展示品

- ゆかた、着物、帯、反物 約 20 点 / 型紙、籠 5 点
- 洋服、現代ファッション 約 20 点 / 藍染を用いた美術作品 2 点
- 映像 2 点

合計 約 50 点

作品画像《プレスリリース画像》

1



2



3



4



5



6



7



8



1. 清水幸太郎「紺木綿地立涌菊模様浴衣」1970～80年代、個人蔵
2. Suzusan「木綿地有松絞りワンピース」2019年 ©suzusan GmbH, Co.KG
3. 小宮康正「白木綿地燕に柳の丸紋模様浴衣」(部分) 1990年頃、個人蔵
4. 福本潮子《スターダスト》(紙布藍染プラチナ箔帯) 2016年、個人蔵
5. 新道弘之「麻地藍染亀甲模様絞り帯」1985年頃、個人蔵
6. 松原伸生「白木綿地流水鯉模様浴衣」(部分) 2018年、作家蔵
7. 「紺木綿地市松模様三浦絞り浴衣」明治時代、個人蔵
8. 福本潮子《蛩》(紺木綿地畳縫絞り着物) 2018年、個人蔵

関連イベント

1 講演会「長板中形の伝統と現在」（仮称）

日時：2020年4月25日（土）14:00-15:30

会場：芦屋市立美術博物館 講義室

講師：松原伸生（出展作家／日本工芸会正会員）

定員：80名 無料（ただし、要観覧券）、申込不要

2 ワークショップ「有松絞り染めを体験しよう」

日時：2020年4月19日（日）13:30-16:00 *要申込

場所：芦屋市立美術博物館 体験学習室

講師：村瀬裕（スズサン代表）

対象：小学生以上のどなたでも（20名まで。応募者多数の場合、抽選）

材料費：1,000円（高校生以上は要観覧券）

*お電話（0797-38-5432）かEメール（ashiya-bihaku@shopro.co.jp）にて

【氏名、住所、年齢（お子さまのみ）、連絡先、メールアドレス】をお伝えください。

4月15日（水）までに抽選結果をEメールでお知らせします。

3 担当学芸員によるギャラリートーク

日時：5月3日（日）、5月17日（日）14:00~15:00

場所：芦屋市立美術博物館 展示室

参加費：無料（ただし、要観覧券）、申込不要

問い合わせ先

○企画内容に関して 尹 志慧（ゆん・じへ、担当学芸員） TEL：0797-23-2666(学芸直通)

○画像貸出等広報について TEL：0797-38-5432(代表)

芦屋市立美術博物館 〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25

◇ホームページ：<http://ashiya-museum.jp/>◇フェイスブック：芦屋市立美術博物館 ◇ツイッター：@ashiya_bihaku



Fashion in

藍のファッション展

2020年4月7日^火.....6月7日^日

Japan Blue



FAX 連絡先 0797-38-5434

ご希望の写真番号に○をつけてご返送をお願いいたします。

本展をご掲載いただける場合、読者・視聴者プレゼント用招待券(10組20名様まで)もご用意しておりますので、お気軽にお申し付けください。

番号	作家名・作品名・制作年・所蔵元など
1	清水幸太郎「紺木綿地立涌菊模様浴衣」1970~80年代、個人蔵
2	Suzusan「木綿地有松絞りワンピース」2019年 ©suzusan GmbH, Co.KG
3	小宮康正「白木綿地燕に柳の丸紋模様浴衣」(部分)1990年頃、個人蔵
4	福本潮子《スターダスト》(紙布藍染プラチナ箔帯)2016年、個人蔵
5	新道弘之「麻地藍染亀甲模様絞り帯」1985年頃、個人蔵
6	松原伸生「白木綿地流水鯉模様浴衣」(部分)2018年、作家蔵
7	「紺木綿地市松模様三浦絞り浴衣」明治時代、個人蔵
8	福本潮子《蛭》(紺木綿地畳縫絞り着物)2018年、個人蔵

貴社名	
媒体名	(新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・その他)
ご担当者名	
ご住所	〒
電話番号	TEL FAX
メールアドレス	@
URL	
掲載・放送予定日	
招待券希望枚数	組 名分希望

- 写真データの使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。
- 本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(DVDなど)を当館までお送りくださいますようお願い申し上げます。
- 本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合には、事前にご連絡ください。

返信用紙

プレスツアー 担当者行

FAX 0797-38-5434

プレスツアー

|日時|2020年4月7日(火) 9時30分～(受付9時15分～)

|会場|芦屋市立美術博物館

|内容|担当学芸員が展覧会のみどころをご紹介します。

プレスツアーに出席します。

※誠にお手数ですが、ご出席の場合のみ以下に必要事項をご記入の上、

3月31日(火)までにFAXにてご返信頂きますようお願い申し上げます。

ご 芳 名

ご 所 属

ご 連 絡 先 TEL

FAX
